

「教師の仕事と4月までの課題」

私の4月までの課題は“子どもたちに伝わる話し方”を心がけることです。ここで言う“話す”とは、朝の会や帰りの会での連絡はもちろん、授業中の発問や指示、そして子どもたちをほめるとき、また叱るときの言葉かけも含めています。一番伝えたいことは何かを考え、目線、話す早さ、声の大きさ、情報量などに配慮して、子どもたちの実態に合わせて話すことが大事だと思います。私は、週に1度学生支援員として小学校の特別支援学級に通っています。この機会を有意義に活用し、話し方の練習をしていきます。

子どもたちに伝えるためには、言葉だけでは不十分なときもあります。人は聴覚からの情報より、視覚から得る情報が多いと言われています。それが障害によって顕著に表れる子どもたちもいます。ただ一生懸命に言葉だけで伝えようとするのではなく、身振り手振り、態度とともに写真などの視聴覚教材も活用し、伝え方を工夫していきたいです。

この工夫するということに教師の仕事の大変さと面白さがあると思います。過去の実習で教材研究の大切さや発問の難しさを痛感しました。教材研究をなくして授業は成り立たず、発問の仕方ひとつで子どもたちの活動への取り組み方が変わることを学びました。教材研究に熱心でありたいと思います。

最後に、実践演習を通して仲間と話し合うことの大切さを感じました。話し合うことで新たな発見があったり、自分の考えに自信をもつことができるようになったりします。子どもたちがそれぞれであるように先生もそれぞれだと思います。周りの仲間と協力し、多くの話を聞いて自分を成長させていきたいです。